

2024年3月28日

各位

大同生命保険株式会社  
国立大学法人大阪大学  
神戸大学経済経営研究所

## 「加島屋広岡家アーカイブ」期間限定公開！

<2024年3月28日(木)~同4月15日(月)>



神戸大学経済経営研究所  
Research Institute for  
Economic and Business Administration  
Kobe University


T & D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：北原 睦朗、以下「大同生命」）、大阪大学大学院経済学研究科（研究科長：開本 浩矢、以下「大阪大学」）、神戸大学経済経営研究所（所長：北野 重人、以下「神戸大学」）は、大同生命と大阪大学が制作に協力した神戸大学の「加島屋広岡家アーカイブ」が3月28日（木）から4月15日（月）までの期間限定で公開されますので、お知らせします。（2024年度中に正式公開予定）

本デジタルアーカイブ（画面イメージは別紙1参照）は、江戸時代の大坂の豪商「加島屋（広岡）久右衛門家」、「加島屋（広岡）五兵衛家」の歴史的資料について、三者協働でデジタル化し、神戸大学が開設するものです。なお、加島屋五兵衛家は、大同生命創業者の一人である広岡浅子を輩出したことでも知られています。

これにより、それぞれが所蔵していた資料を一つのデータベースに集約し一般公開することで（対象資料は別紙2参照）、研究者のみならず、どなたでもご覧いただけるようになります。

大阪・関西万博が開催される2025年は、加島屋が創業したと伝わる1625年から400年の節目の年となります。今後も大同生命・大阪大学・神戸大学は相互に協力し、世界でも有数の金融都市であった「商都・大坂」のさらなる実態解明と魅力発信に努めてまいります。

### <「加島屋広岡家アーカイブ」の概要>

公開先 (URL)	<a href="http://ccss.kobe-u.ac.jp/research/database/bunsho/archive/index.html">http://ccss.kobe-u.ac.jp/research/database/bunsho/archive/index.html</a>	
公開資料 (計8,700点)	<ul style="list-style-type: none"><li>大同生命が所蔵（大阪大学に寄託）する「大同生命文書」のうち、加島屋に関連する資料（約180点）</li><li>神戸大学が所蔵（広岡家より寄贈・寄託）する「広岡久右衛門家文書」「広岡五兵衛家文書」の文書・古写真（約8,500点）</li></ul>	
関係機関 代表者	<ul style="list-style-type: none"><li>大同生命保険株式会社 <small>おおえだ きょうこ</small> 大枝 恭子 執行役員 (コーポレートコミュニケーション部担当)</li><li>大阪大学大学院経済学研究科 <small>ひろた まこと</small> 廣田 誠 教授</li><li>神戸大学経済経営研究所 <small>たかつき やすお</small> 高槻 泰郎 准教授</li></ul>	

以上

### <お問合せ先>

- 大同生命保険株式会社 広報課 ([kouhou@daido-life.co.jp](mailto:kouhou@daido-life.co.jp))
- 大阪大学大学院経済学研究科 TEL: 06-6850-5202 FAX: 06-6850-5208  
教授 廣田 誠 ([hirota@econ.osaka-u.ac.jp](mailto:hirota@econ.osaka-u.ac.jp))
- 神戸大学経済経営研究所 TEL: 078-803-7070 FAX: 078-803-7059  
総務係 ([gaibushikin@rieb.kobe-u.ac.jp](mailto:gaibushikin@rieb.kobe-u.ac.jp))

# 加島屋広岡家アーカイブ（画面イメージ）

## 加島屋広岡家アーカイブ（試験公開）

大同生命保険株式会社  
大阪大学経済史・経営史資料室  
神戸大学経済経営研究所

廣岡久右衛門家文書
廣岡五兵衛家文書
大同生命文書
お問い合わせ

### 加島屋広岡家アーカイブについて

廣岡家は江戸時代初期から昭和にかけて、大阪を拠点に活動した家であり、本家・久右衛門家（大阪玉水町）と、寛政18年（1798）に創出された分家・五兵衛家（大阪江戸堀一丁目）を中心とする。肥後藩領・東尾道村（現・肥後市）の廣岡家の次男に生まれた廣岡富政（1693-1698）が、大阪で加島屋久右衛門を創業したことに意欲を持つ。加島屋は、創業時には米取引業に従事していたが、18世紀中頃、大名に対して包括的な金融サービスを提供するビジネス（いわゆる「大名貸（だいきょうがし）」）に転足を遂げ、これによって豪商と呼ばれる地位を確立するに至った。

明治維新後は、銀行業、保険業を創業し、現在の大同生命保険株式会社（以下、大同生命）に事業が受け継がれている。「加島屋廣岡家アーカイブ」は、大同生命保険、大阪大学経済史・経営史資料室、神戸大学経済経営研究所の三者が共同で作成したデジタルアーカイブであり、以下の3つの歴史資料から構成される。

- ・ ①大同生命文書（大阪大学経済史・経営史資料室寄附）
- ・ ②廣岡久右衛門家文書（神戸大学経済経営研究所寄附）
- ・ ③廣岡五兵衛家文書（大阪大学経済史・経営史資料室寄附）

①「大同生命文書」は、大同生命の創業100周年記念事業の一環として、2011年12月、大同生命より大阪大学大学院経済学研究科に寄附された史料群である（現在は、大阪大学経済史・経営史資料室庫にて保管）。このアーカイブでは、この内のデジタル化が完了している史料（江戸期を中心とする）を、目録とともに公開するものである。デジタル化が完了していない史料については、大阪大学経済史・経営史資料室にて閲覧可能である。

②「廣岡久右衛門家文書」は、廣岡久右衛門家のご子孫のご厚意により、2022年11月に神戸大学経済経営研究所に寄附された史料群である（現在は、神戸大学経済経営研究所企業資料総合センター貴重書庫にて保管）。このアーカイブでは、整理が完了している史料の目録と、デジタル化が完了している史料の画像を公開する。残文書については、直近でも発見が相次いでおり、現在進行形で整理を進めている。これらについても進捗を公開していく予定である。

③「廣岡五兵衛家文書」は、廣岡五兵衛家のご子孫のご厚意により、2022年12月に神戸大学経済経営研究所に寄附された史料群である（現在は、神戸大学経済経営研究所企業資料総合センター貴重書庫にて保管）。このアーカイブでは、整理が完了している史料の目録と、デジタル化が完了している史料の画像を公開する。

なお、「廣岡久右衛門家文書」および「廣岡五兵衛家文書」には相当数の古本真も含まれており、全て電子化が完了している。このアーカイブでは、ご子孫のプライバシーに配慮し、電子公開をお断り頂いたものを避けて公開する。

**参考文献**

大同生命保険株式会社コーポレートコミュニケーション部（2022）『大同生命130年史』大同生命保険株式会社

大同生命保険株式会社広報部編纂（2018）『大同生命100年の挑戦と創造』大同生命

大同生命保険相互会社（1972）『大同生命70年史』大同生命保険相互会社

高取幸邦編著（2022）『東洋の金融史—廣岡家文書から読み解く金融イノベーション—』慶應義塾大学出版会

廣岡家研究会（2017）『廣岡家文書と大同生命文書—大阪豪商・加島屋（廣岡家）の軌跡—』『三井文庫叢書』第51号

宮本又次（1967）『大阪町人』



神戸大学  
経済経営研究所  
加島銀行の行員（1900年元日）

本ホームページは、「財団法人加島屋財団（加島屋財団）」が制作。©2023。大同生命保険株式会社、大阪大学経済史・経営史資料室より無断転載して作成されたものではありません。  
Copyright © Research Institute for Economic and Business Administration, Kobe University. All Rights Reserved.

## 加島屋広岡家アーカイブで公開される資料

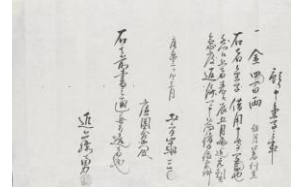
### 1. 商都・大坂の豪商「<sup>かじまや</sup>加島屋」関連資料

1625年に精米業から身を起こしたと伝わる「加島屋」は、“世界最先端の金融市場”とも言われた「堂島米会所」でのビジネスや全国諸藩への融資である「大名貸し」により、江戸時代の商都・大坂を代表する豪商に成長しました。

本アーカイブでは、加島屋の経営資料や大名貸しに関する資料を公開しています。



▲ 加島屋本宅  
(加島銀行本店)  
※現在の大同生命  
大阪本社所在地



▲ 新撰組借用書  
(大同生命特別展示で公開中)

### 2. 「広岡浅子」関連資料

明治維新を迎えて経営の危機に陥った加島屋を立て直した実業家が、大同生命創業者の一人、広岡浅子です。七転び八起きを超える「九転十起」の精神で加島屋の立て直しに奔走し、炭鉱・銀行・生命保険と多くの事業を手掛けました。

本アーカイブでは、NHK連続テレビ小説「あさが来た」により一躍名を知られることになった浅子とその家族の写真、浅子が広岡久右衛門家に送った書簡などを公開します。



▲ 広岡浅子  
(1849~1919)



▲ 広岡浅子書簡

### 3. 「ヴォーリズ設計広岡邸」関連資料

新たに公開する資料には、ウィリアム・メレル・ヴォーリズ (1880-1964) が設計した広岡恵三邸 (神戸市東灘区) の写真があります。なお、広岡恵三は大同生命第2代社長で広岡浅子の婿養子にあたります。

現在の甲南女子大学のあたりに約2.5万坪にわたる広大な敷地に建てられた地上3階・地下1階建ての広岡邸は、ヴォーリズが設計を手掛けた個人住宅の中でも最大級のものとなります。



▲ヴォーリズ (上) と  
妻の一柳満喜子 (下)



▲ 広岡恵三邸  
(神戸市東灘区)  
※現存せず